

11
/22
(土)

横浜にカジノはいらない！

カジノ解禁と横浜誘致について考えるシンポジウム

じき

11月22日(土) 15:30~18:00

JUNO

かながわ労働プラザホールAB(3階)

カジノ解禁法案の臨時国会での成立が見送られましたが、安倍首相はカジノをアベノミクスの「成長戦略」のひとつと位置付け、次の国会で成立させるつもりです。

マスコミもカジノの問題点を指摘し始め、NHKは17日(月)に「クローズアップ現代」でギャンブル依存症を特集し、毎日新聞も18日(火)に特集を組んでいます。

韓国で唯一韓国人が入れるカジノ「江原ランド」のある地域では、犯罪率と自殺者が急増し、質屋が軒を並べ、ギャンブル依存症に陥った人々がうろつく一方、若い世代が町を離れ、人口が減少しています。横浜にカジノができれば、その二の舞いになる可能性は否定できません。

全国的に第一線で活躍されている鳥畑教授、吉田弁護士、野末医師の3氏をお迎えして、カジノ解禁法案の問題点を学び、人・まち・社会をむしばむ弊害にスポットを当て、カジノと横浜の未来について、一緒に考えましょう。

プログラム(予定)

●報告

1. 「カジノ誘致に超熱心な林市長と横浜の自民党」 横浜市会議員 古谷 やすひこ
2. 「医師からみたギャンブル依存症の実態」 精神科医 野末 浩之氏
3. 「多重債務問題に取り組む弁護士から見たカジノ解禁推進法案の問題点」
弁護士、全国カジノ賭博場設置反対協議会事務局長 吉田 哲也氏

●講演

「IR型カジノは、経済成長と観光の決め手とはならない！不幸をまき散らすビジネスだ！」

静岡大学人文社会科学部教授 鳥畑 与一氏

●フロア発言も予定しています。

みなさんのご参加をおまちしております！